

# CONTENTS

2 写真で振り返る「オリンピックレガシー」

2 前期市民力レッジ受講生募集

しみせん  
3 市民センのひろば

3 地域レポート・まちづくり探検隊  
豊津地区『豊津デジカメ事業』

4 INTERVIEW ROOM・きりり★まちづくり  
「鹿嶋市茶華道連盟 会長 山田 博子さん」



◆主管：2020+1 KASHIMA文化交流フェスティバル実行委員会「オリンピックを楽しむ市民の会」

写真で  
振り返る

# オリンピックレガシー



## 再確認! ～鹿嶋の魅力と市民力～

2018年から東京2020オリンピックサッカー競技鹿嶋市開催の成功に向けた取り組みとして、様々な市民参画プログラム（機運醸成・おもてなし事業等）を実践してきました。今回の取り組みの成果は、今後のまちづくり市民活動に繋がっていくものと考えています。今号では、これまでの主な取り組みを記録写真で振り返ってみました。



▲第16回鹿嶋市まちづくり市民大会を開催。オリンピック鹿嶋市開催の成功に向けた取り組みについて、「スポーツ・健康」や「文化」「環境・持続可能性」などの8つのテーマを基に検討しました。（2019年2月3日）



▲市民カレッジとして「オリンピック、楽しむことを始めよう。」をテーマに、鹿嶋の魅力と「おもてなし」の取り組みについて学習しました。（2019年7月～9月）



▲日本の文化を紹介し、来訪者へのおもてなしを図るため、和紙のちぎり絵を描いたおもてなしうちわづくりを各地区公民館で開催しました。（2019年10月～2020年3月）



▲「2019KASHIMA文化交流フェスティバル」を1年前イベントとして開催しました。（2019年7月28日）



▲東京2020オリンピック開催に向けて、地域の方々の協力を得て、各地区公民館に「オリパラブース」を設置しました。（2018年～2021年）



▲オリンピック開催が延期になった中、「2020KASHIMA文化交流フェスティバル」を開催しました。（2020年7月～8月）



▲市民カレッジで、市民によるおもてなしの手段として、けん玉を学習しました。（2020年8月～10月）

▶海外メディア関係者へ「おもてなし」の魅力を発信する機会も



▲鹿嶋の魅力を発信するため、KASHIMAポストカードデザインコンテストを開催しました。（2020年8月～2021年3月）

## 市民カレッジ受講生募集!!

## 『SDGs(持続可能な開発目標)って何だろう?』 ～私たちの生活との関わりをとおして考える～

環境保全に関する「SDGs(持続可能な開発目標)」を学習して、私たち一人ひとりの生活にどんな関わりがあるのか、日常生活における取り組みなどについて楽しく学んでみませんか?

第1回 日時 10月23日(土) 13:30～15:30

テーマ ①SDGs(持続可能な開発目標)とは ②SDGsの環境保全への取り組み(パート1)

第2回 日時 11月6日(土) 13:30～15:30

テーマ SDGsの環境保全への取り組み(パート2)

第3回 日時 11月20日(土) 13:30～16:00

テーマ SDGsの目標達成のために「私たちができることは」(ワークショップ)

- 講師：茨城県環境アドバイザー 小川 達己 氏
- 会場：鹿嶋市まちづくり市民センター
- 対象：市内在住・在勤・在学の方
- 募集人数：30名(応募多数の場合抽選となります)
- 受講料：無料
- 募集締切：令和3年10月10日(日)
- 申込方法：講座の申込み締切日までに「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、FAXまたは下記窓口へ直接申込みください。電話での申込みも受け付けております。
- 問合せ：鹿嶋市まちづくり市民センター 千314-0031 鹿嶋市宮中4631-1 TEL 83-1551 FAX 83-1553 (受付時間 9:00～17:00 ※月曜休館)

利用しています!!

しみせん  
市民セン

のひるげ

団体紹介



ドラムサークルは0歳から性別や音楽経験関係なしに、どなたでもできるリズムアンサンブル。ストレスケア、脳内セロトニン活性化などの効果があります。

ドラムサークル Wing Beat  
本沢 翼さん(厨)



着付け方や小物でガラッと雰囲気が変わるところに着物のおもしろさを感じ、「着物のおしゃれ」を楽しんでいます。着物を着ることで、日常が少し楽しく豊かになります。

Bon Chic (ボン・シック)  
大川 文恵さん(長瀬)



ソウル  
「颯流」

篠崎 英男さん(平井)

「礼に始まり礼に終わる」を大切に、20代から50代まで、世代・性別にこだわらないチームで、礼儀や協調性、団体行動の大切さを次の世代に伝えたいと思い活動しています。歴史ある鹿嶋の良さを、年に一曲テーマを決めてオリジナルの曲を作り、「よさこい」をとおして表現し、鹿嶋の地を知ってもらえるよう「常陸国 YOSAKOI祭(大子町)」や「守谷市商工まつり」等、各地のイベントに参加しています。また2016年から2019年にかけては、年末に「鹿島神宮奉納よさこい」を開催してきました。

チーム結成から11年目を迎えましたが、コロナ禍の影響で各地のイベントが中止となるなど、これまでの活動が難しい状況ではありますが、以前と同様の活動が出来ることを望み、稽古に励んでいます。メンバーも随時募集中です。



▲日頃の活動の様子

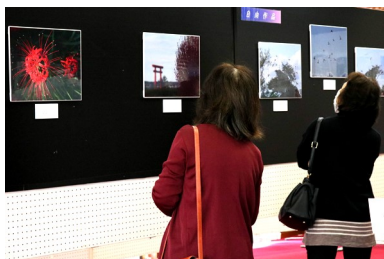
地域レポート



まちづくり  
探検隊 (vol.29)

豊津地区

『豊津デジカメ事業』  
～写真による地域の  
魅力再発見と発信～



▲とよつまつり写真展の様子

豊津デジカメ事業を始めるきっかけは、2018年に「未来に生かそう！市民がつくるオリンピックレガシー」というテーマで「鹿嶋市まちづくり講座」が開催された際に、日本や地域の魅力を伝えるためには、その魅力を知る必要があると話し合ったことだそうです。

その頃、豊津公民館ではデジカメ講座を開催しており、写真が地域の魅力を知り、伝える手段として有効であると考え、『とよつまつり』に「豊津の風景」をテーマとした作品発表の場を設定しました。そうしたことでデジカメ講座の参加者の活動意欲が高まり、この事業を始める契機となったそうです。

2018年から現在までの約3年間の活動の中で、たくさんの方に参加していただいた作品は、公民館に展示されています。また、地域PRパンフレットやポストカード、スライドDVDにも活用しています。

写真展はこれまで9回開催、地域PRパンフレットはNo.6まで発行、スライドDVDは3枚作成し、現在のコロナ禍ではリモートでの写真交流も行っており、LINEを使用した活動も始まっているようです。

豊津公民館の沢畑館長は、豊津デジカメの活動をとおして、「今まで見逃していた地域の魅力に気づき、人との結びつきが生まれ、広がっていくのを感じることができ、漠然とした日常に変化が生まれ、目的をもって生活する糧を得ました。」と話してくれました。

今年度は活動の一区切りとして、フォトブック「鹿嶋・豊津の魅力」の作成・配布を計画しているようです。

写真をとおして地域の魅力を多くの方々に伝えたいという想いが伝わってくる活動になっています。



▲フォトブック作成の様子



▲デジカメ講座の様子

掲 示 板

市民センターをご利用の皆さまへ

“第15回て～ら祭”  
延期のお知らせ



『て～ら祭』は例年11月に、まちづくり市民センターに集う人たちの「出会いと絆」づくりや、日頃の活動の成果を発表して、「つどい・学び・つながる」ことを目的に開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期いたします。

新しい日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせいたしますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

活動報告

詳細については  
ホームページにて



市民センターのイベントや講座など随時更新!

きらり★まちづくり (vol.29)

# 私が文化活動を 続ける理由

鹿嶋市茶華道連盟

会長 山田 博子さん(木滝)



## 茶華道連盟の 活動について

コロナ禍以前は、鹿嶋市文化協会の活動として、秋には鹿嶋市芸術祭で「いけばな展」、3月には文化フェスティバルで「いけばな展・お茶会」を毎年実施していました。

しかし、現在は、茶華道連盟としての活動ができていないため、先生方個人の教室での活動しかできず非常に残念な状況が続いています。ですがピンチはチャンスというように、この機会を活用して各々が自分自身の腕を磨いてほしいなと思っています。

また今年も、茶華道連盟として大きな活動のひとつである「鹿嶋市伝統文化親子体験教室」を計画しています。市内の親子対象に華道・茶道の体験教室を実施する予定ですので、是非興味のある方は参加していただきたいと思っています。

## 茶道・華道を 始めたきっかけは？

私自身、旧大野村で生まれ育ったので小さい時から自然と植物に触れる機会が多かったです。そして、小

学校1年生の頃に父の書棚にあった牧野富太郎の『植物図鑑』を読み、いつしか私の愛読書になりました。この幼少時の経験が本格的に植物に興味を持ち始めた原点です。

華道を始めたのは、女子短期大学に通っていた18歳の頃に、大学の学生寮に龍生派の先生が教えに来ていたため、母の勧めでお稽古を始めたのがきっかけです。また、茶道を始めたきっかけについては、社会人になった時に、華道が続けたいと母に相談した時に、「茶道も一緒にやりなさい」と言われたためです。

## 公民館活動について

私自身、華道や茶道だけでなく、「国際交流さるびあ」というボランティア団体を立ち上げた一人として、外国人の方に日本語を教える活動を続けられたのは、公民館があったからだと思っています。みんなが安心して、集えて、お互いを高め合うことができるのは公民館の魅力のひとつなのではないかと感じています。

公民館で活動を実践してきたからこそ、様々な方と交流ができ、その

経験が現在の自分自身の生き方や考え方に役立っていますね。

## 伝統文化の魅力

やはり、伝統文化の魅力は、感性を豊かにし、物事を捉える視野が広がっていくことだと思います。私自身もお茶やお花に没頭している時間は雑念が消えて「無の世界」を体験できるんですね。そういう時間に身を置くことで色々なものが見えてきます。それが伝統文化の魅力だと感じています。

## オリンピック鹿嶋市 開催を振り返って

オリンピック鹿嶋市開催期間中に開催された「文化交流フェスティバル」では、茶華道連盟として「いけばな展」を実施しました。

コロナ禍の中、やむを得ず中止となった行事もありましたが、この社会情勢の中で、みんなで必死に取り組んだ経験は、今後の活動に大いに役立っていくのではないかと思います。

## 活動風景



▲文化フェスティバル「春のお茶会」



▲オリンピック開催を祝う「いけばな展」

## PROFILE

- やまだひろこ
- ・鹿嶋市木滝在住
- ・鹿嶋市茶華道連盟 会長
- 鹿嶋市文化協会 副会長
- (公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団 評議員
- 国際交流さるびあ 顧問
- (華道)龍生派水戸支部 支部長
- (茶道)大和遠州流茨城支部 副支部長
- ・座右の銘  
「歩歩是道場(ほほこれどうじょう)」